

砂絵体験通じて友好深める

姉妹都市である韓国蔚珍(ウルチン)郡の小学生ら13人が1月5日、御前崎市を訪れ、市内の小学生と一緒に砂絵を体験しました。子どもたちは身ぶり手ぶりで会話をしながら、色がついた砂を思い思いの配色で振り掛け、作品を完成させました。



火災から文化財を守り抜く

文化財を火災や震災などから守るため1月17日、文化財防火訓練が賀茂神社で消防署・消防団・地元関係者により実施されました。建物への延焼を防ぐ想定で放水訓練が行われ、宮本春彦宮司は「伝統ある文化財をみんなで守っていききたい」と話しました。



悔しさをバネに成長誓う

バドミントンの東海地区予選に出場した常葉学園菊川高校2年の上田帆奈実さん(新野東)、麻生朝香さん(佐倉三区)、相澤志帆さん(塩原)が1月19日、市役所を訪れ、石原市長に「悔しい結果だったけれどいい経験になりました」と報告をしました。



なみまる・ふうちゃん石像に

マスコットキャラクターのPRに役立ててほしいと1月20日、(株)下村石材店の下村和之さんが手作りのなみまる・ふうちゃんの石像を市へ寄贈しました。

石原市長は「素晴らしい作品。ぜひ多くの市民に見てもらいたい」と感謝の言葉を述べました。



全国へ生カツオを出荷

県内初となる生カツオの初水揚げ・初競りが1月23日に御前崎港で実施されました。

南駿河湾漁協所属の「第11福栄丸」が小笠原諸島沖で釣り上げた、生カツオ約20トンを水揚げされ、1kgあたり平均600円で取り引きされました。



屋台人形、鎧などを整備

比木原町内会では本年度、宝くじの助成金を活用し、屋台人形や鎧などの祭典用品を整備しました。(財)自治総合センターでは、社会貢献広報事業として宝くじの収益金の一部を活用し、地域社会の発展と住民福祉の向上のための事業を展開しています。

